

EXA100

Manual Generated: 19/11/2024 - 12:28

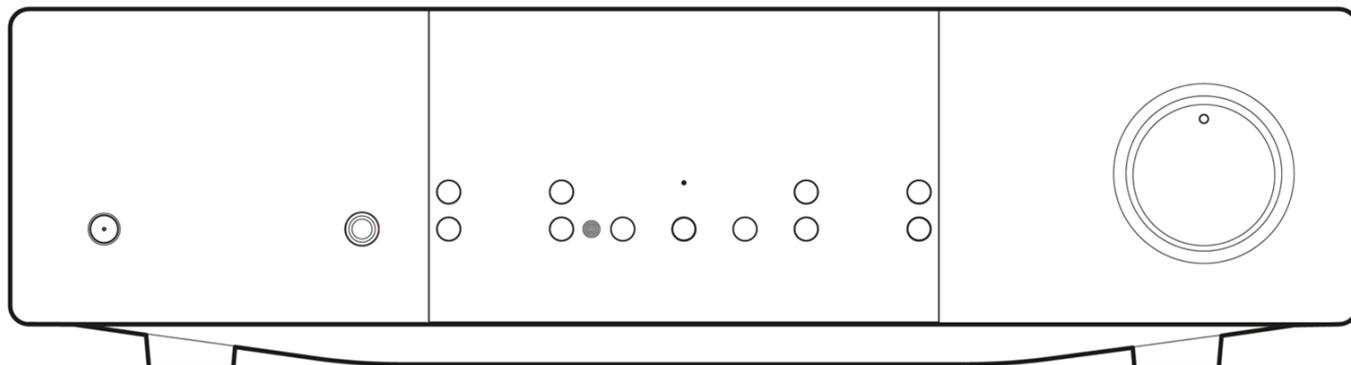


Table of Contents

| | |
|---------------------|----|
| EXA100 | 3 |
| はじめに | 3 |
| EXA100に含まれるもの | 4 |
| フロントパネルコントロール | 5 |
| リアパネル接続 | 6 |
| リモコン | 9 |
| 接続 | 10 |
| USBオーディオ接続 | 14 |
| セットアップメニュー | 17 |
| Bluetooth | 20 |
| コントロールバス | 21 |
| CAP保護システム | 23 |
| トラブルシューティング | 25 |
| 技術仕様 | 26 |
| よくある質問 | 27 |

EXA100

Last updated: October 9, 2024 09:04. Revision #14149



はじめに

Last updated: October 2, 2024 01:54. Revision #14122

本ガイドは、本機を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点でその正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーということもあり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、Audio Partnership Plcはライセンス契約に基づきこれらを使用しています。その他の商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

Qualcommは、米国およびその他の国で登録されたQualcomm Incorporatedの商標であり、許可を得て使用しています。aptXは、米国およびその他の国で登録されたQualcomm Technologies International, Ltd.の商標であり、許可を得て使用しています。

Qualcomm aptXは、Qualcomm Technologies International, Ltd.の製品です。 □

□ Copyright Cambridge Audio Ltd

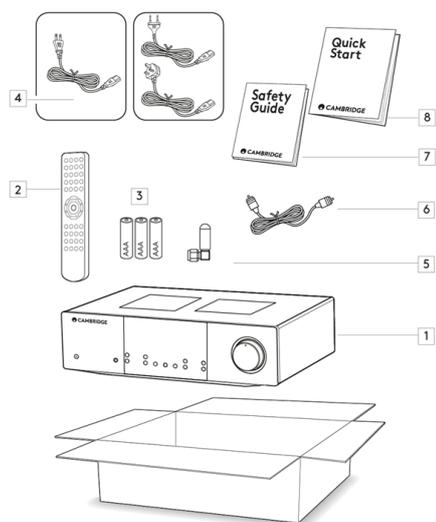
今後の製品、ソフトウェアアップデート、限定オファーに関する今後のニュースについては、必ず <で製品を登録してください。

<https://www.cambridgeaudio.com/register>

EXA100に含まれるもの

Last updated: October 2, 2024 01:55. Revision #14121

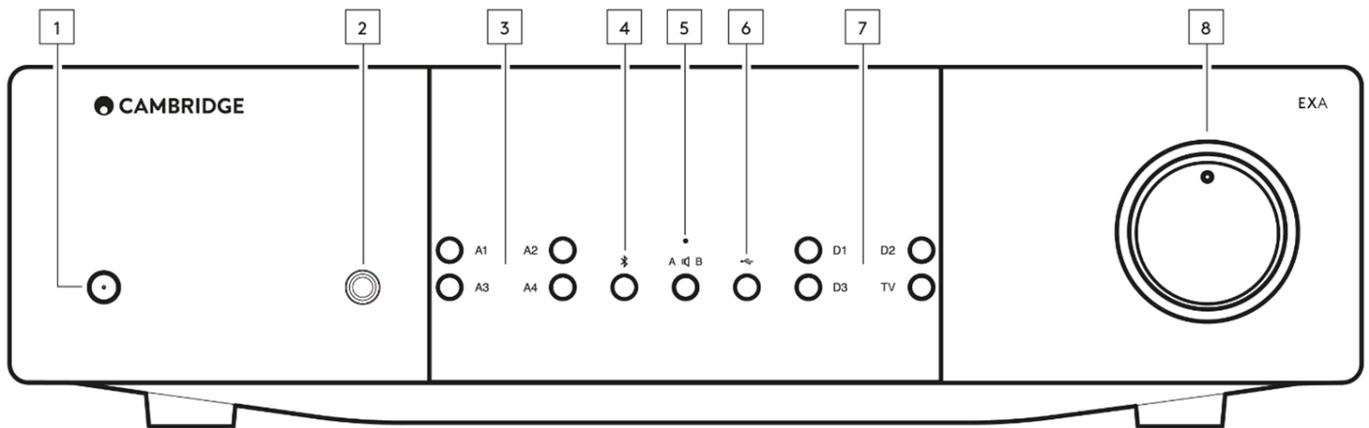
EXAのパッケージには次のものが含まれます。



1. EXA100 内臓アンプ
2. リモコン
3. 3×単4電池
4. 地域の電源ケーブル
5. Bluetoothアンテナ
6. オレンジコントロールバスケーブル
7. 安全ガイド
8. クイックスタートガイド

フロントパネルコントロール

Last updated: September 27, 2024 01:50. Revision #14120



1. スタンバイ/オン - スタンバイモード（暗いLEDで表示）とオン（明るいLEDで表示）を切り替えます。スタンバイモードは省エネモードで、消費電力は0.5W未満です。

自動電源切断（APD：AUTO POWER DOWN）

EXAはAPD（Auto Power Down）を採用しており、デフォルトでは60分間使用しないと自動的にスタンバイに切り替わります。詳細については、「セットアップメニュー」セクションを参照してください。

注:APDは、A1またはA1バランスが選択されている場合には、パワーアンプモードで無効となります。

2. ヘッドフォン - 対応のヘッドホンをご使用の場合 - 接続すると自動的にスピーカーとプリアウト端子を消音にします。
3. アナログソース選択ボタン - 適切な入力選択ボタンを押して、必要なソースを選択します。
注意：A1入力選択ボタンを押すと、バランスとアンバランスが切り替わります。バランスのとれた入力はA1がオレンジ色に点灯し、アンバランス入力がA1で青く点灯して表示されます。
正しい入力ボタンが選択されていない場合、アンプから音は出ません。たとえば、オーディオソースがバランス入力に接続されている場合は、A1入力ライトがオレンジ色に点灯していることを確認します。
4. Bluetooth - 押してBluetooth入力をオンにします。
このBluetoothソースはプレイヤーにほとんどの携帯、タブレット、ラップトップからのワイヤレスBluetooth音源のアクセスを許可します。
5. スピーカーA/B - 背面パネルのラウドスピーカー端子に接続されているスピーカーセット(スピーカーセットA、B、またはA&B)を押してスクロールします。これは、別の部屋でスピーカーの余分なセットを聴くために使用することができます。詳細については、「セットアップメニュー」セクションを参照してください。

ミュートインジケータ

ミュートインジケータ - ライトが点滅し、出力がミュートされていることを示します。

本機リアパネルのA1パワーアンプモードがオンになったことを示すランプが常時点灯します。

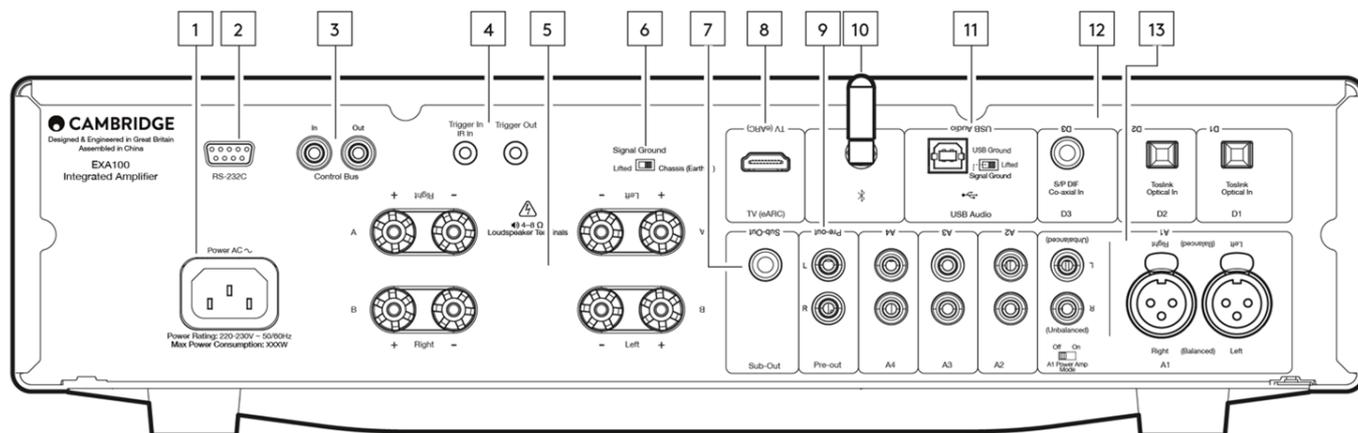
保護インジケータ

詳細については、「CAP4」セクションを参照してください。

6. USBオーディオ - 押してUSBオーディオ入力を選択します
7. デジタルソース選択ボタン - 適切な入力選択ボタンを押して、希望のソースを選択します。
8. 音量 - ユニットが出力する音声のレベルを上げたり、下げたりします。このコントロールは、パワーアンプモードA1とA1バランス時以外のすべての出力のレベルに影響します。

リアパネル接続

Last updated: October 2, 2024 02:00. Revision #14119



1. AC電源ソケット-アンプへの全ての接続が完了したら、AC電源ケーブルを適切な電源ソケットに差込、電源を入れます。これでアンプを使用する準備が整いました。
2. RS232C- RS232 は標準のシリアルデータ通信プロトコルで、RS232 をサポートするデバイスがホーム オートメーションシステムの一部として相互に通信できるようにします。
カスタムインストールコントロール - EXAの完全なプロトコルは、当社のウェブサイトの[こちら](#)からご利用頂けます。
3. コントロールバス-接続されている他のEXシリーズ製品との間で電源コマンドとボリューム・コマンドを送受信するために使用されるRCAソケット。コントロールバスの詳細については、「コントロールバス」セクションを参照してください。
4. トリガー

トリガー出力-EXAとトリガー出力を持つ製品間でリンクワイヤーを使用してください。これにより、EXAの電源をオンにした際/スタンバイにした際の双方の製品の電源状態を同期します。</p>

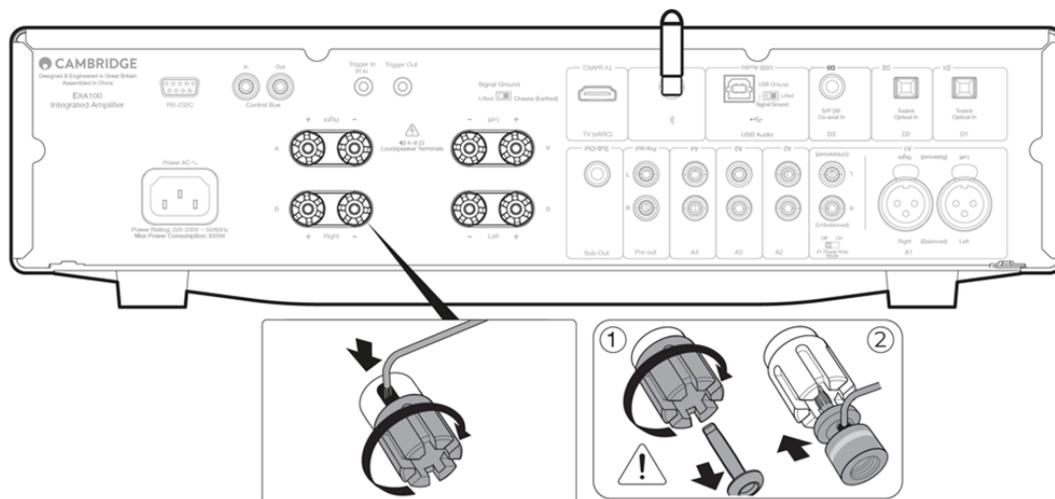
トリガー入力/IR入力

トリガー入力 - トリガー出力を持つ製品とEXA間でリンクワイヤーを使用してください。

IR入力 - IRリピーターまたはカスタムインストールシステムから変調されたIRコマンドを受信します。

5. スピーカーターミナル

注:パナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。



ラウドスピーカー端子の2つのセットが利用可能です:

A(メインラウドスピーカー端子)とB(第二ラウドスピーカー端子)

左チャンネルスピーカーのワイヤをEXAの左端子に接続し、右チャンネルラウドスピーカーからEXAの右端子に接続します。

アンプの正の接続がスピーカーの正の接続に接続され、アンプの負の接続がスピーカーの負の接続に接続されていることを常に確認してください。

赤色の端子は正の出力です。

黒色の端子は負の出力です。

スピーカー出力を短絡させるような線がないように注意してください。通電が遮断されないことがないようにラウドスピーカーの端子がしっかり締まっていることを確認してください。

端子への接続が甘いと、音質に影響する可能性があります。

注:スピーカー端子は、バナナプラグを挿入する前に丸い部分を取り外す必要があります。

コツ:これらを改善するもっとも簡単な方法は、スピーカー端子のねじを僅かに緩め、もう一度締め直すというものです。これによって、プラグを簡単に取り外すことができます。

6. シグナルアーススイッチ

ポジション1 - 通常/規定の位置。本体のオーディオアースをシャーシアースから持ち上げます。

ポジション2-本体のオーディオアースはシャーシのアースに直接接続されています。いくつかの設定では、特定のテレビ、ターンテーブルやその他の機器がEXN100ユニットに接続されている際には、反響音や雑音を軽減することが出来ます。

7. サブ出力-必要に応じて、アクティブなサブウーファァーの入力に接続します。

注:サブ出力には約2.3kHzのローパスフィルタが印加されており、2.3kHzを超える周波数はこの出力に接続されたサブウーファァーには送信されません。これは、サブ出力周波数において、EXAによる位相の付加を最小限にするためです。クロスオーバー周波数は、サブウーファァー自体で調整できます。

8. 拡張オーディオ・リターン・チャンネル (eARC) - ARCとeARC機能の両方をサポートするテレビからの接続。

9. プリアウト- パワーアンプまたはアクティブサブウーファァーのアンバランス入力への接続用。

注:プリアウトにはローパスフィルタが適用されていないため、全周波数範囲がプリアウトに接続されたサブウーファァーに送信されます。

10. Bluetoothアンテナ - Bluetoothオーディオストリーミングに使用します。詳細はBluetoothのセクションをご覧ください

11. USB オーディオ入力 - Microsoft Windows または Apple Mac OS X オペレーティングシステムを実行しているコンピュータからオーディオの再生を可能にするUSB B タイプのソケット。Linuxのいくつかのビルドも適しています。

注:

-USBハイスピード認定の高品質USB接続ケーブルを常に使用してください。3mを超えるUSB接続は、オーディオ性能が安定しない場合があります。

USB入力にケーブルを抜き差しする前に、またはPC / Macの起動/シャットダウン中に、必ず音量を最小にし、別の入力に切り替えるか、EXAをオフにしてください。

グラウンド/リフトスイッチ - グラウンド/リフトスイッチを使用すると、USBインタフェースアースがEXA信号グラウンドを接続または切断できます。USB入力選択時にスピーカーから電子音が聞こえる場合、アースを外す(持ち上げる)ことが有効です。それ以外の場合は、スイッチをグラウンド位置のままにしておきます。

12. デジタル入力(D1、D2、D3)-TOSLINKおよびS/P DIF同軸デジタル入力。

同軸 - 高品質の75ΩデジタルRCAフォノ相互接続ケーブル(通常のオーディオ用に設計されたケーブルではありません)を使用します。この入力、最大192kHzの16~24ビットコンテンツに適しています。

TOSLINK光ファイバー-オーディオ用に特別に設計された高品質のTOSLINK光ファイバー相互接続ケーブルを使用します。この入力、最大96kHzの16~24ビットコンテンツに適しています(TOSLINKは192kHzのサンプリングレートでは推奨されません)。

注:システムから最良の結果を得るには、高品質のケンブリッジオーディオ相互接続のみを使用することをお勧めします。これにより、デザインされたとおりの最良のパフォーマンスが実現します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

13. アナログ入力(A1アンバランス、A2、A3、A4) - CDプレーヤー、DABまたはFM / AMチューナーなどの「ラインレベル」ソース機器に適しています。

これらの入力はアナログオーディオ信号専用です。CDプレーヤーやその他のデジタル機器のデジタル出力に接続しないでください。

注:平衡XLR入力の場合、ピン1はグラウンド、ピン2は正、ピン3は負です。

A1入力

A1入力は、アンバランス(フォノ/RCA)またはバランス(XLR)接続のいずれかを備えています。バランス接続は、より高品質のオプションであり、この機能をサポートする他の機器で使用すると、ケーブル内のノイズや干渉を排除できます。

XLRコネクタはピン1 - グラウンドで配線されています。ピン 2 - ホット (同相);ピン 3 - コールド (位相反転)。

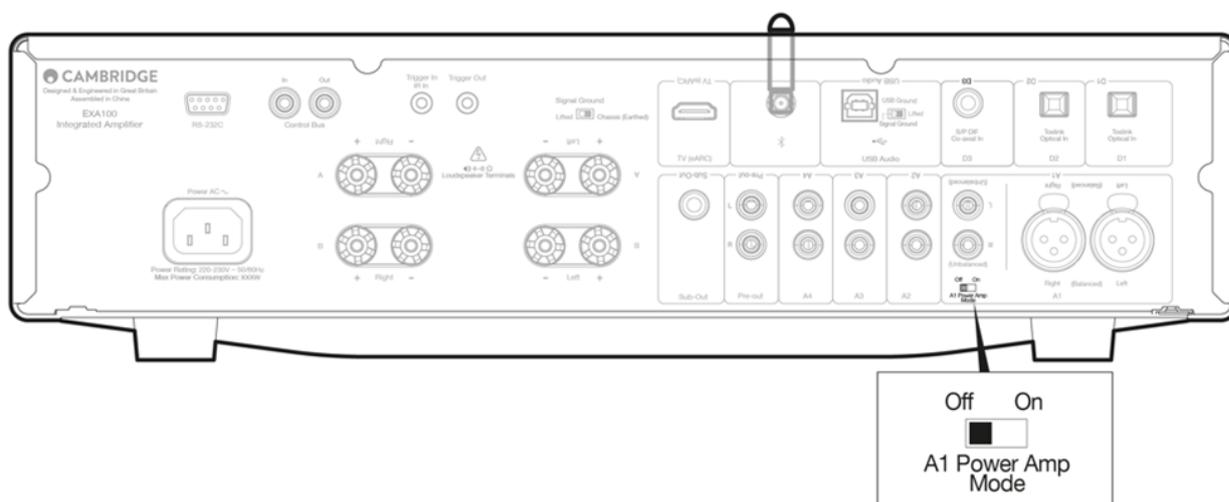
A1パワーアンプモード：

オフ：デフォルト状態

オン：アンプモードを有効にします。このモードは外部プリアンプに完璧にマッチします。



注意:パワーアンプモードを有効にする前に、音量を下げてください。



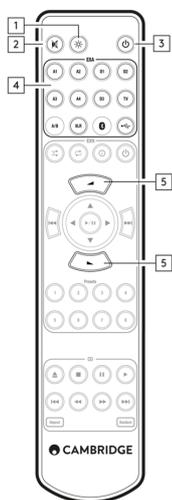
リモコン

Last updated: September 27, 2024 02:17. Revision #14118

リモートコントロールハンドセットEXAは、前面パネルの操作機能を複製し、他のEXシリーズ製品も操作することが可能です。

注意：リモコンは付属の3A電池を入れてご使用ください。

ハンドセットボタンは、以下のように機能します。



1. 明るさ - EXAディスプレイ照明の明るさを変更します。2つの輝度レベルとバックライトをオフにするオプションがあります。注:EXAディスプレイ照明を消灯するように選択すると、いずれかの機能を選択した時にライトが一時的にオンになり、変更が表示されます。
2. ミュート - このボタンを押して、ラウドスピーカー、プリアウト、サブ、およびヘッドフォン出力をミュートまたはミュート解除します。
ミュートインジケータ - ライトが点滅し、出力がミュートされていることを示します。
3. スタンバイ/オン-ユニットをオンと低電力スタンバイモード間で切り替えます。
4. ソース - ソース入力を選択するために使用します。
注意：A1ボタンにはバランスまたはアンバランスA1入力を選択するダブル機能があり、2回押すと2つの入力が切り替わります。
5. 音量アップ/ダウン - 音量レベル調整。

注:リモコンが機能しない場合は、電池の有効期限が切れていないこと、およびフロントパネルのIRレシーバーを遮るものが何もないことを確認してください。

接続

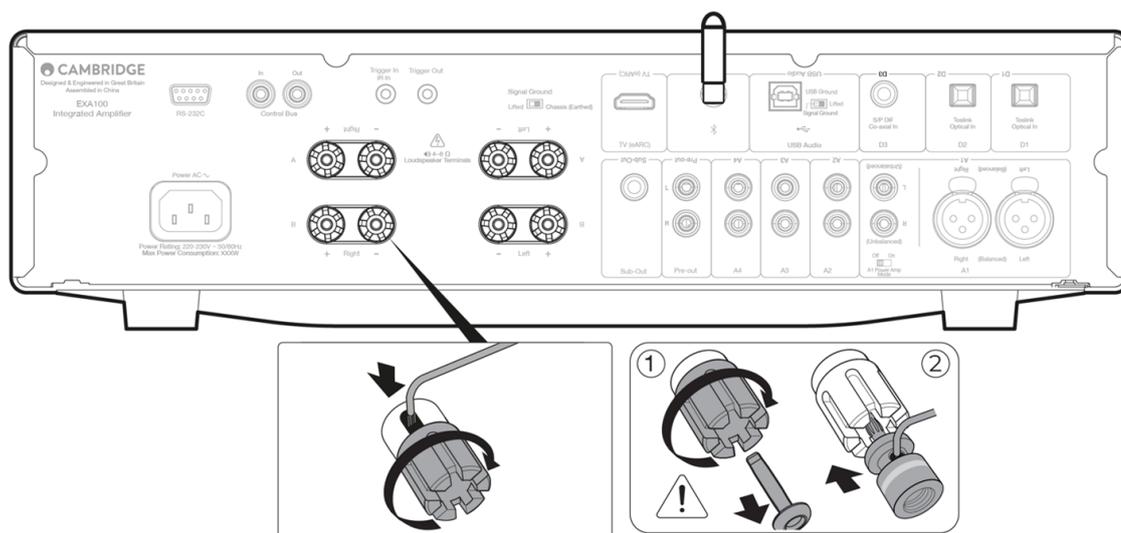
Last updated: October 2, 2024 02:14. Revision #14117

当社のアンプを設計する際には、さまざまな方法でシステムを接続できる機能が含まれています。プリアウト接続やスピーカーB接続などの機能が含まれているため、ご希望に応じてシステムを柔軟に構成できます。

注:バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子が完全に締め付けられていることを確認してからプラグを差し込んでください。

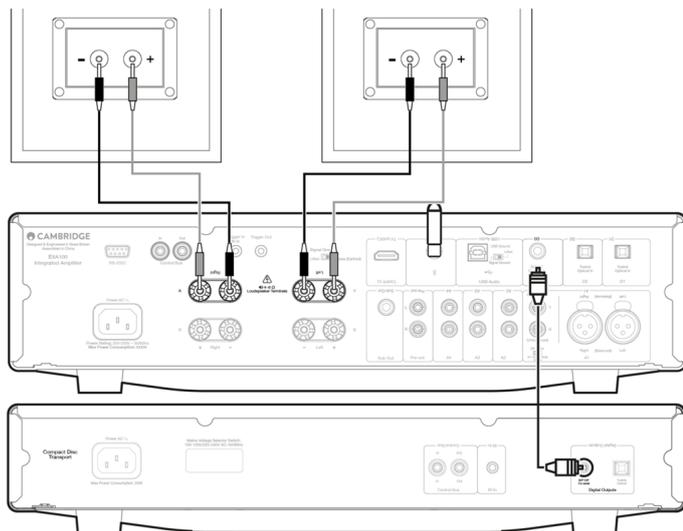
注:スピーカー端子は、バナナプラグを挿入する前に丸い部分を取り外す必要があります。

コツ:これらを改善するもっとも簡単な方法は、スピーカー端子のねじを僅かに緩め、もう一度締め直すというものです。これによって、プラグを簡単に取り外すことができます。



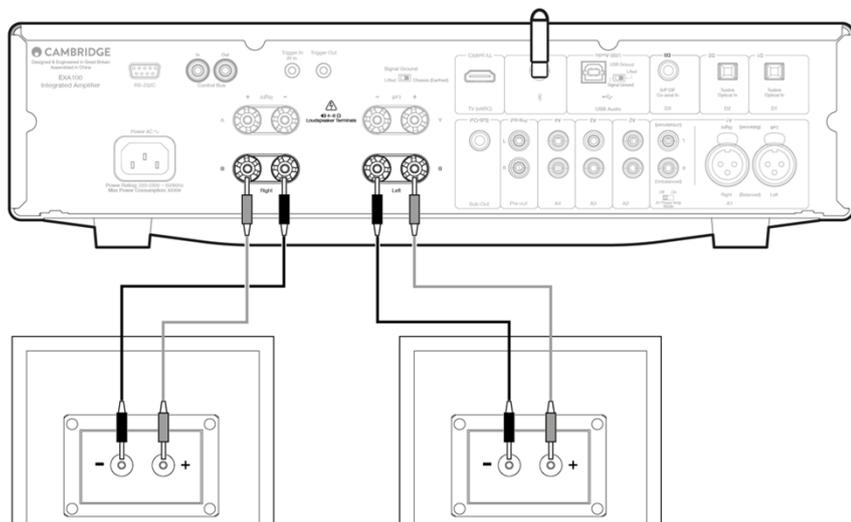
一般的な接続方法

次の図は、D3 同軸デジタル入力ソースと1対のラウドスピーカーを使用したアンプとCDプレーヤーへの基本的な接続を示しています。



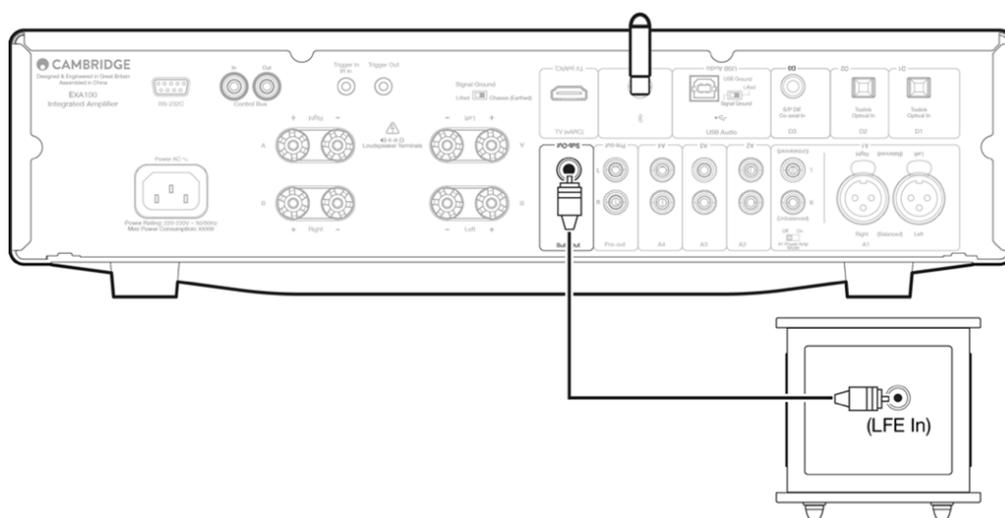
スピーカーBの接続

アンプの背面には、メインとは別のスピーカー（例：他の部屋に設置されたスピーカー）が一对接続できるように「スピーカーB」出力が用意されています。フロントパネルのスピーカーA/Bボタンは、スピーカーAのみ、スピーカーBのみ、スピーカーA・B同時の選択でスクロールします。



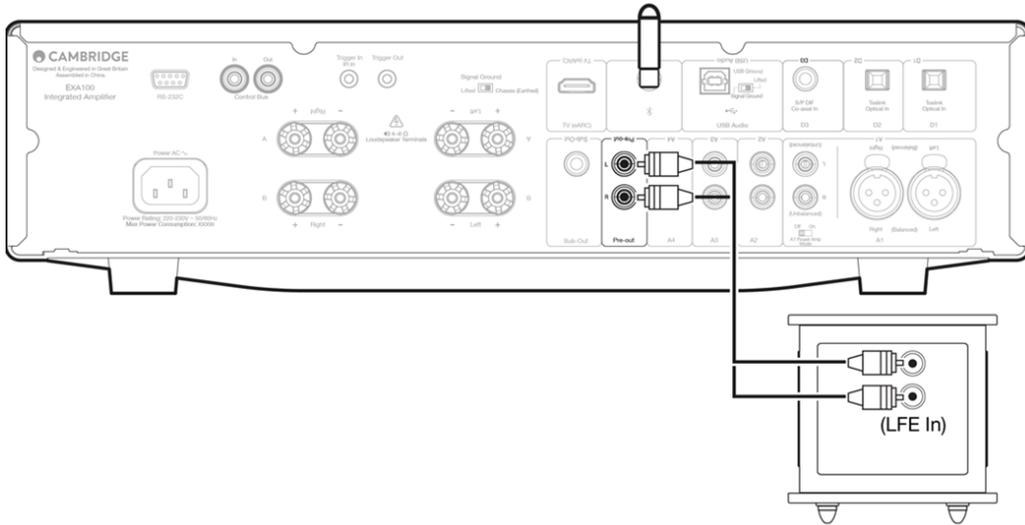
サブ出力接続

サブ出力は、アクティブなサブウーファースのLFE/サブ入力に接続するためのものです。次の図は、サブウーファースのLFE/Sub入力を介してアンプをアクティブなサブウーファースに接続する方法を示しています。



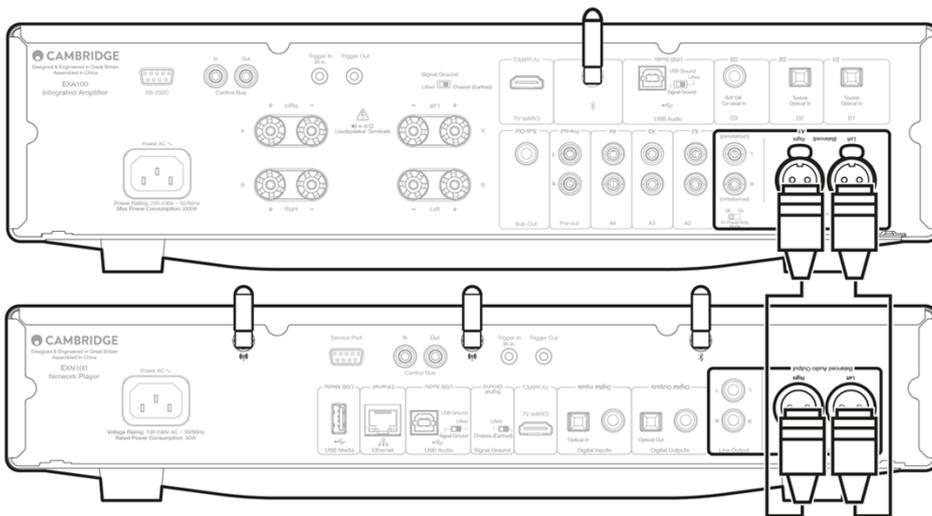
プリアンプ出力接続

プリアンプ出力ソケットは、パワーアンプまたはアクティブサブウーファースの入力ソケットに接続するためのものです。次の図は、サブウーファースのLFE/Sub入力を介してアンプをアクティブなサブウーファースに接続する方法を示しています。



バランスオーディオ接続

次の図は、3ピンXLRコネクタを介してバランスオーディオ入力を使用してEXAをEXAネットワークプレーヤーに接続する方法を示しています。EXAは、バランス出力でCambridge Audio以外のオーディオソースに接続することもできます。



オーディオシステムのバランス接続は、電源配線などから発生する電氣的ノイズや、グラウンド接続に流れるノイズ電流の影響を排除するために設計されています。平衡連系の基本原理は、3線式接続を使用して、減算によって必要な信号を取得することです。一方の信号線(ホットまたは同相)は通常の信号を伝送し、他方の信号線(コールドまたは位相反転)は反転バージョンを伝送します。平衡入力は、2つのライン間の差を検出して、必要な信号を与えます。両方のラインで同じように現れるノイズ電圧(これらはコモンモード信号と呼ばれます)は、減算によってキャンセルされます。

EXAは、バランス相互接続が使用されている場合に最高のパフォーマンスで動作するように設計されています。

注:EXAのバランス入力を選択するには、フロントパネルまたはリモコンのA1ボタンを2回押して、フロントパネルディスプレイのA1ライトがオレンジ色に点灯します。CXA81でA1入力選択ボタンを押すと、バランスとアンバランスが切り替わります。

テレビへの接続

テレビは、必要な光または同軸出力を備えている限り、EXAのデジタル入力の1つに接続できます。EXAはステレオ信号しかデコードできないため、TVの出力オーディオ設定がPCMまたはステレオに設定されていることを確認してください。

また、テレビが接続されているデジタル入力EXAのフロントパネル(D1、D2、またはD3)で選択されていることを確認してください。

EXA内で「TVモード」を有効にするには:

コネクテッドTVの中には、アンプ内部のDACが処理できないような一貫性のないサンプルレートをEXAに送信するものがあります。これにより、オーディオのドロップアウトや不具合が発生する可能性があります。EXAの場合、アンプ内で「TVモード」を有効にする必要があります。

EXA上で「TVモード」を有効にするには：

1. EXAをスタンバイモードにして、セットアップメニューに入ります。
2. セットアップメニューに入るには、EXAをスタンバイモードにし、スタンバイモードで、A/Bランプが交互に点滅し、ソースA1-A4が点灯するまで、スピーカーA/Bボタンを押し続けます。

セットアップ構成については、以下のソースボタンを参照してください。

注意：選択したボタン（オン）は青色のライトで表されます。

A2 オフ - EXA は、入力 D2 で最高のデジタル入力オーディオ設定に設定されます。

A2 オン - EXA は入力 D2 に対してより寛容なデジタル入力設定に設定されているため、信号が断続的に低下する可能性が低くなります。

3. セットアップ設定を保存してセットアップメニューを終了するには、スピーカーA/Bボタンを押します。

注:セットアップメニューでスタンバイ/オンボタンを押すと、このセットアップメニューが終了し、セットアップ設定は保存されません。

TV入力（ARC/eARC入力）

テレビのARC/eARC機能を使用すると、接続されたオーディオ製品にオーディオとコントロールコマンドを送信できます。これにより、必要に応じてテレビがオーディオ製品をオンにしたり、テレビのリモコンから音量を制御したりできます。

注:設定メニューのテレビ電源コントロールオプションはデフォルトで有効になっていますが、必要であれば無効にすることができます。

トラブルシューティング

フロントパネルに信号が表示されていないか、接続された製品からの音声出力がありません

- テレビのHDMI入力がARC/eARCに対応していることを確認してください
- テレビが内蔵スピーカーではなく、接続されたオーディオシステムを使用するように設定されていることを確認してください
- テレビのオーディオ出力が「ステレオ PCM (非圧縮)」に設定されていることを確認します。
- お使いのHDMIケーブルがHDMI 1.4以上と互換性があることを確認してください

テレビは接続された製品の電源を入れたり制御したりしません

- 関連するCECとARCの設定がテレビで有効になっていることを確認してください。
- EXAでTV電源コントロールモードが有効になっていることを確認してください。詳細については、「セットアップメニュー」セクションを参照してください。

問題の報告

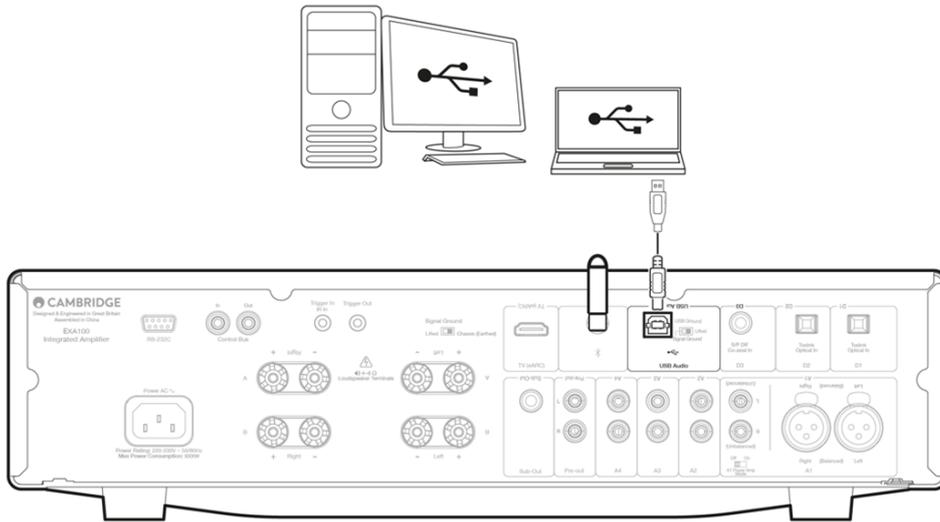
上記のトラブルシューティング手順を実行した後も、製品上でeARCを動作できない問題が解決しない場合は、私共までご連絡ください。

USBオーディオ接続

Last updated: October 2, 2024 02:17. Revision #14116

EXA USB オーディオ入力を使用すると、Microsoft Windows または Apple Mac OS X パersonalコンピュータ (および一部の Linux ビルド) からオーディオを再生できます。

USBケーブルで接続すると、コンピュータはEXAをオーディオデバイスとして識別します。コンピュータのオーディオコントロールパネルでEXAを指定すると、コンピュータにローカルに保存されているオーディオデータ、またはネットワークまたはインターネット経由でコンピュータにストリーミングされたオーディオデータを再生できます。



重要な注意：USB入力にケーブルを抜き差しする前に、またはPC / Macの起動/シャットダウン中に、必ず音量を最小にし、別の入力に切り替えるか、EXAをオフにしてください。

注:常にUSBハイスピード認定された高品質のUSB「AからB」ケーブルを使用してください。3mを超えるUSB接続は、オーディオ性能が安定しない場合があります。

EXAはUSB 2.0(ハイスピード)とUSB 1.1(フルスピード)の両方のUSBポートに対応しています。また、USB 3.0ポートでも動作し、PCはEXAをUSB 2.0または1.1デバイスと同様に扱います。

EXAは、次の2つのUSBオーディオプロトコルをサポートしています(ポートの種類自体と同じではありません)。

- USBオーディオクラス1 (USB 1.1ポートで動作し、24ビット/96kHzをサポートします)
- USBオーディオクラス2 (USB 2.0ポートで動作し、24ビット/384kHzをサポートします)

デフォルトの設定はUSBオーディオクラス2です。

USBオーディオ入力を介してWindows PCをEXAに接続する方法

EXAをUSBオーディオクラス1に切り替えると、Windows 7以上で動作し、24ビット/96kHzまでの音声を受け付けられるようになります。

EXAをUSBオーディオクラス2に切り替えると、Windows 7以上で動作し、24ビット/384kHzまでの音声を受け付けられるようになります。

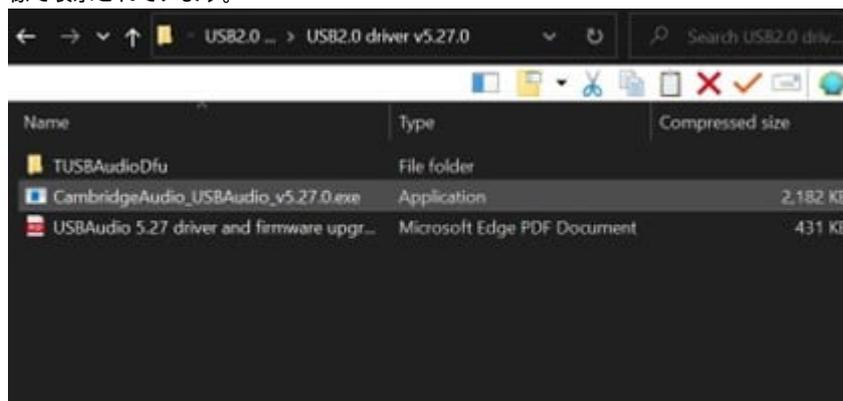
1. EXAをスタンバイモードにするか、ボリュームを最小に設定したら、USB AからBへのケーブルでPCをEXAに接続します。
2. 最高品質の再生を行うには、EXAがUSB 2.0モードに設定されていることを確認します。
USBモードの変更方法については、以下の「セットアップメニュー」セクションを参照してください。(デフォルトの設定はUSBオーディオクラス2です。)
3. Windows USB 2.0ドライバをダウンロードします。
USBドライバのダウンロード方法については、下記の「最新のUSBオーディオドライバのインストール方法」をご覧ください。
4. EXAのフロントパネルでUSBオーディオソースを選択します。
これを行うには、フロントパネル ボタンを押し続けます。
5. Windows PCのサウンド設定からEXAを出力スピーカーとして選択します。

注意：可能な限り最高品質の再生を実現するには、EXAの最大サンプルレート(最大384kHz)が選択されていることを確認します。これは、Windows PCから「コントロールパネル」>「サウンド」>「スピーカーのプロパティ」>「詳細設定」タブを選択し、ドロップダウンメニューから最大サンプルレートとビット深度を選択することで実行できます。

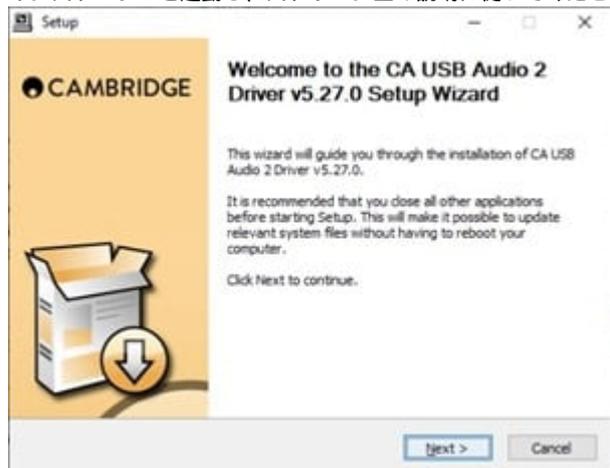
最新のUSBオーディオドライバーをEXA100用にインストールするにはどうしたらいいですか？

最新のUSBオーディオドライバーをEXA100にインストールするには、次のステップに従ってください。

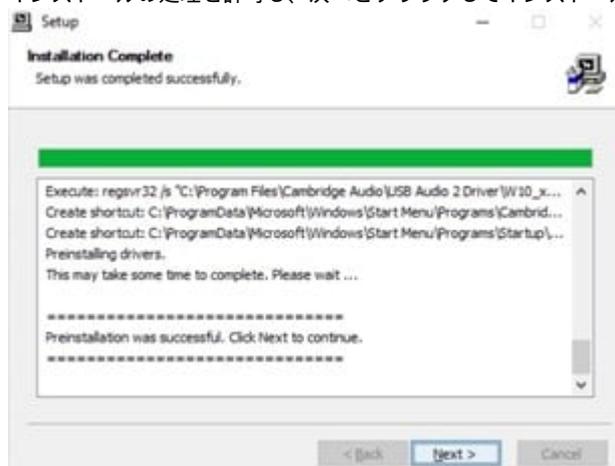
1. お使いのWindowsオペレーティングシステムに合ったドライバを以下からダウンロードしてください-
<https://www.cambridgeaudio.com/gbr/en/driver-updates>
2. ダウンロードしたフォルダーを解凍し、アプリケーションファイルをダブルクリックしてインストーラーを実行します。これは下の画像で表示されています。



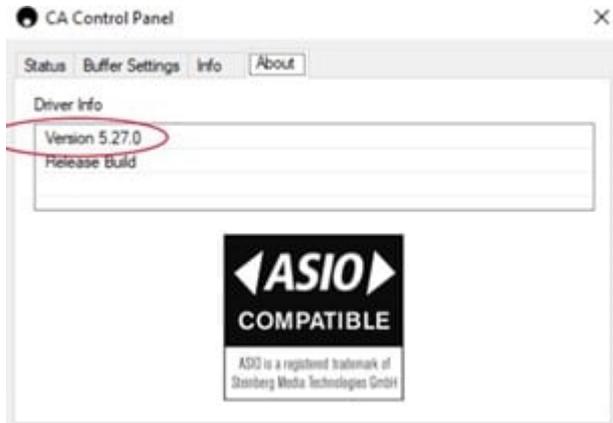
3. インストーラーを起動し、スクリーン上の説明に従ってください。



4. インストールの処理を許可し、次へをクリックしてインストールを完了してください。



5. CAコントロールパネルを開き、ドライバーのバージョンを確認し、インストールを確認します。



USBオーディオ入力を通じてWindows PCをEXAに接続する方法

追加のドライバは必要ありません。EXAをUSBオーディオ1.0に切り替えると、Mac OS-X 10.5 (Leopard) 以上のネイティブなオーディオ1.0ドライバで動作し、最大24ビット/96kHzのオーディオを受け付けます。

EXAをUSBオーディオ2.0に切り替えると、Mac OS-X 10.5 (Leopard) 以上のネイティブなオーディオ2.0ドライバで動作し、最大24ビット/384kHzのオーディオを受け付けます。

1. EXAをスタンバイモードにするか、音量を最小に設定したら、Mac の USB ポートに応じて、USB A から B ケーブル、または C から B ケーブルで Mac をEXAに接続します。
2. EXAのフロントパネルでUSBオーディオソースを選択します。
これを行うには、フロントパネル ボタンを押し続けます。
3. Windows PCのサウンド設定からEXAを出力スピーカーとして選択します。

注:可能な限り最高品質の再生を実現するには、EXAの最大サンプルレート(最大384kHz)が選択されていることを確認します。

これは、「オーディオMIDIセットアップ」>「サウンド」>「スピーカーのプロパティ」>「詳細設定」タブを選択し、ドロップダウンメニューから最大サンプルレートとビット深度を選択することで、Mac経由で実行できます。

Linuxでの使用

EXAをUSBオーディオクラス1に切り替えたLinuxのほとんどのビルドでは、EXAはネイティブのオーディオ1.0ドライバで動作し、最大24ビット/96kHzのオーディオを受け付けます。

Linuxの一部の最新ビルドでは、USBオーディオクラス2がサポートされており、EXAをオーディオ2.0に切り替えて、24ビット/384kHzまでのオーディオを受け入れる必要があります。

どちらの場合も、Linuxビルドはドライバを含むソフトウェアコンポーネントの作成者の選択によって異なるため、動作を保証することはできず、オーディオドライバのロードが必要になる場合があります。

オーディオクラス1.0またはオーディオクラス2.0デバイスの一般的なサポートのために求められている「クラスドライバ」は、Linuxコミュニティから入手できる場合がありますが、これらは提供されていません。

注:USBドライブまたはHDDを「USBオーディオ」入力を通じてEXA100に直接接続することはできません。EXA100の「USBオーディオ」入力は、PCまたはMacとの直接接続のみをサポートします。ただし、当社のネットワークプレーヤーの1つをEXA100と組み合わせて使用してこれを行うことができます。

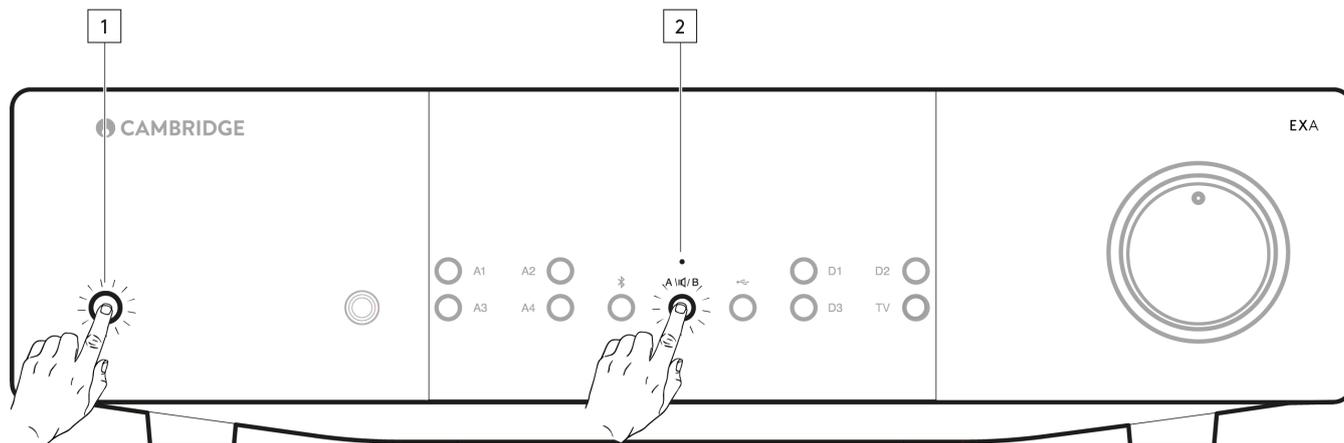
セットアップメニュー

Last updated: October 2, 2024 02:20. Revision #14115

セットアップメニューにアクセスするには

1. EXAをスタン大モードにします。
2. セットアップメニューに入るにはEXAをスタンバイモードにし、スタンバイモードで、A/Bランプが交互に点滅し、ソースA1-A4が点灯するまで、スピーカーA/Bボタンを押し続けます。

注:TV入力LEDは、TV電源コントロールがデフォルトで有効になっていることを示しています。



設定オプション

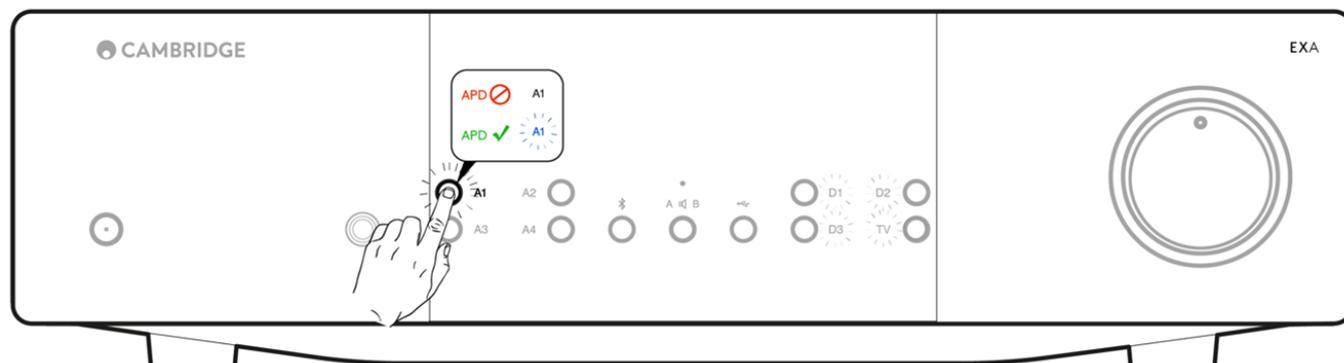
注:選択したボタンは青色のライトで表されます。

自動電源切断 (APD : Auto Power Down)

A1オン ● - APD時間を20分に設定します。

A1オフ ○ - APD (自動電源切断) 機能を無効にします。

注:自動電源切断は、音声がでない場合にEXAを自動的にスタンバイモードに切り替える電源切断機能です。APD時間は、EXAが自動的にスタンバイモードになる前に、オーディオが出なくなるまでに必要な時間を表します。



クリップ機能

ボタンA3はアンプクリップ保護モードを選択します。

A3オン ● - クリップ機能は有効です。信号のクリッピングが検出されると、ボリュームは徐々に弱くなります。

A3オフ ○ - クリップ機能は無効です。

USBモード

ボタンA4はUSBオーディオモードを選択します。

A4オン ● - EXAをUSBオーディオクラス2モードにします。

A4オフ ● - EXAをUSBオーディオクラス1モードにします。注：

TVモード

ボタンA2はTV最適化モードをD2とTV入力で選択します。

A2オン ● - SYNCモードのDAC

A2オフ ● - ASYNCモードのDAC

TV電源コントロール

TV入力ボタンはARCを介したTV電源コントロールを選択します（デフォルトはオン状態）

テレビLEDオン ● - テレビ電源コントロールが有効

テレビLEDオフ ● - テレビ電源コントロールが無効

USBファームウェア更新

USB入力ボタンは、ファームウェア更新モードを選択します。リアパネルUSBコネクタがUSBオーディオ（デフォルト）とファームウェア更新モードで切り替えられます。ファームウェア更新モードは、電源を切っても持続しません。EXAは、電源を切るとデフォルトでUSBオーディオモードに切り替わります。

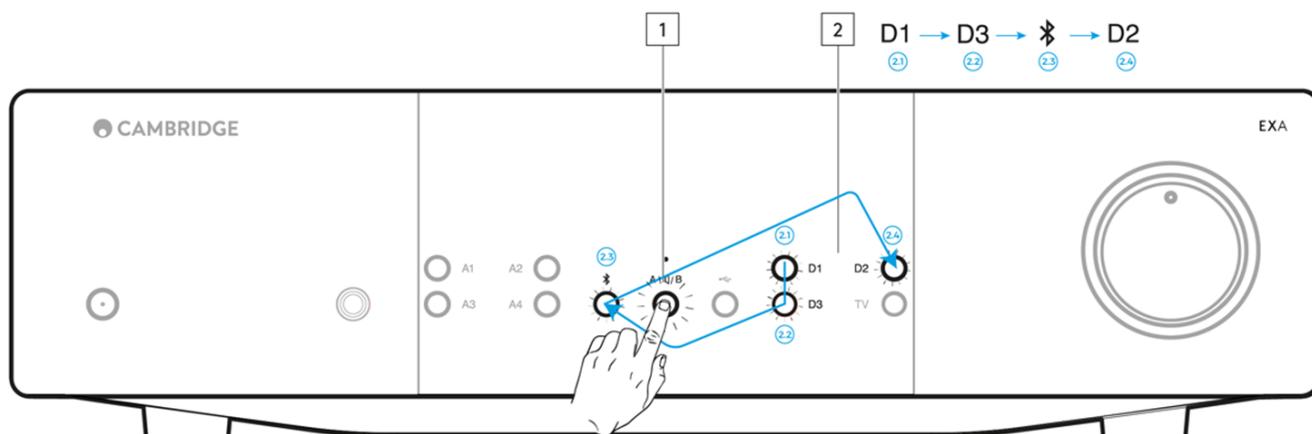
USB オン ● - ファームウェア更新モードオン

USB オフ ● - ファームウェア更新モードオフ

工場出荷時状態へのリセット

これによりEXAを工場出荷時状態に戻します。

1. EXAがスタンバイモードのときに、スピーカーのA/Bボタンを押し続けます。
2. A/Bライトが点滅したら、D1、D3、Bluetooth、D2の順に押してください。



設定の保存

スピーカーA/Bボタンを1回押して[セットアップ]メニューを終了し、EXAをスタンバイモードに戻します。

設定を保存せずにメニューに戻る

電源ボタンを押すと、EXAはスタンバイ状態になります。

コントロールバス

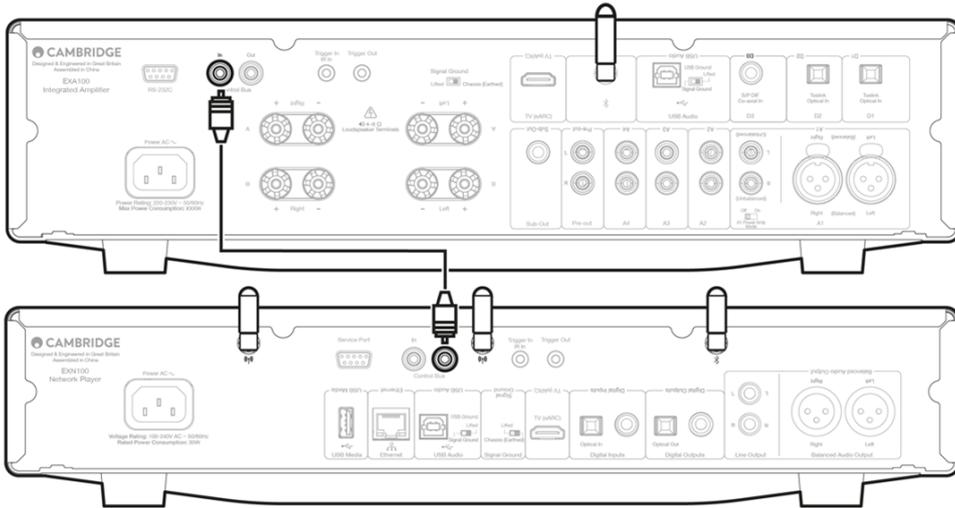
Last updated: October 1, 2024 12:28. Revision #14123

コントロールバスを使用すると、互換性のあるCambridge Audioの製品は、ユニットの電源投入時に同期できます。付属のコントロールバスケーブルを使用してEXシリーズを接続する場合は、次の図を参照してください。

またコントロールバスは、StreamMagicアプリでもEXNを介したEXAの制御が可能です。

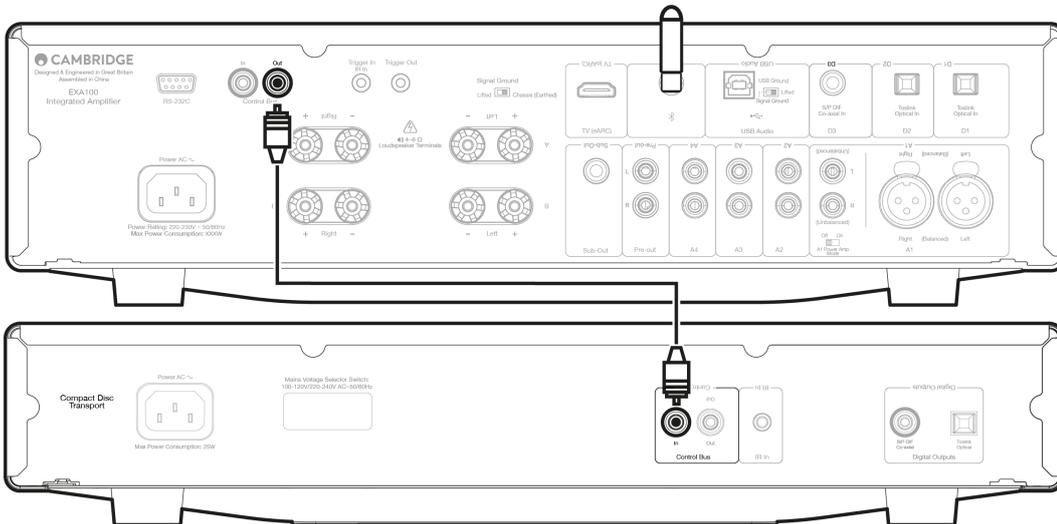
StreamMagicアプリ（EXN経由）

アプリを使用してEXNをオン/オフにすると、EXAもオン/オフになります。アプリを使用して、EXAのボリュームを制御することもできます。EXNコントロールバス出力をEXA入力に接続します。詳細については、EXNのマニュアルを参照してください。



EXAとCXC

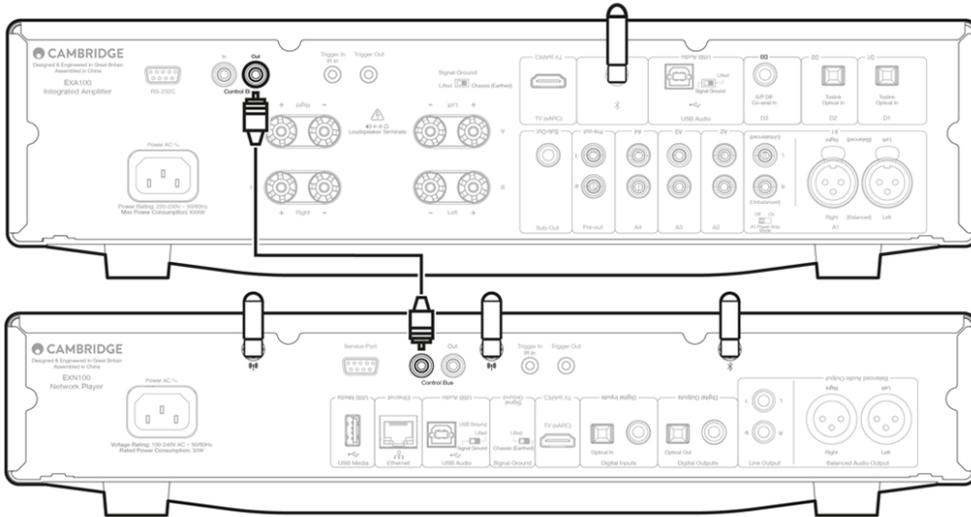
EXAをオン/オフにすると、CXCもオン/オフになります。EXAコントロールバス出力をCXC入力に接続します。



EXAとEXN

注意:StreamMagicアプリを使用せずにEXAを制御します。

EXAをオン/オフにすると、EXNもオン/オフになります。EXAコントロールバス出力をEXN入力に接続します。



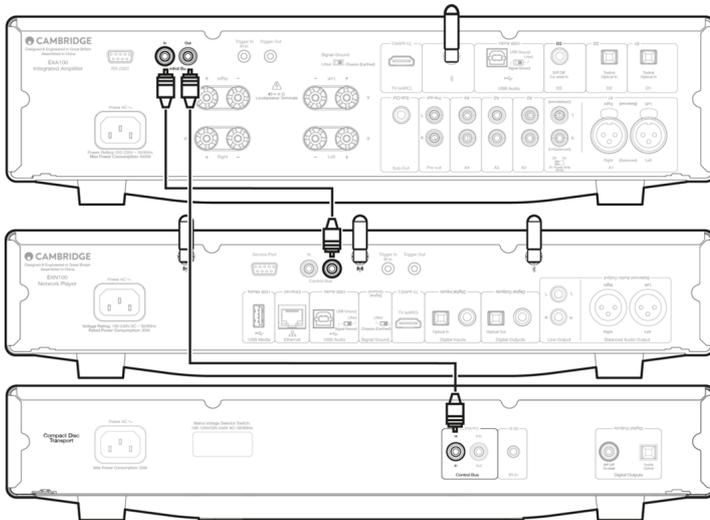
EXAとEXN & CXC

EXNをオン/オフにすると、EXAとCXCもオン/オフになります。

3つのEXデバイスすべてを使用して、EXNコントロールバスをEXAコントロールバスに接続します。EXAコントロールバス出力をCXC入力に接続します。

注意:CXCコントロール・バスからEXNコントロールバスラインにループバックしないでください。

また、アプリがEXNに接続されたら、コントロールバスを有効にして、StreamMagicアプリのEXNデバイス設定内で「アンプ」に設定する必要があります。



注意：EXA、EXN、CXCはすべて自動電源オフ(APD)機能を備えています。APDが有効で、デバイスの1つがオンになっているが非アクティブの場合、選択したAPD時間が経過すると、デバイスは自動的に電源が切れます。これにより、コントロールバス接続のために、接続されている他のすべてのデバイスがオフになります。

デバイスが自動的にスタンバイ状態にならないようにするには、各デバイスでAPD機能を無効にすることをお勧めします。

CAP保護システム

Last updated: October 2, 2024 02:31. Revision #14124

Cambridge Audioは、アンプと接続されるスピーカーの信頼性と長寿命を確保するために、独自の保護システムを開発しました。この保護システムは、5つの主要な保護方法で構成されています。

直流検出

表示 - ユニットの動作中にオフになります。フロント・パネルのスピーカーA/Bの白色LEDが、赤色LEDと連動して以下の順序で点滅します。詳細については、以下をお読みください。

説明 - CAP4は、何らかの内部障害のためにアンプの出力が高定電圧(DC)になった場合にスピーカー保護を提供します。稀な故障ではありますが、この故障が発見されれば、高価なスピーカーが救われるかもしれません。

処置 - DC 保護回路の必要感度から、アンプの極端なハードクリッピングは DC 保護が作動する場合があります。この故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

過温度検出

表示 - ユニットの動作中にオフになります。フロント・パネルのスピーカーA/Bの白色LEDが、赤色LEDと連動して以下の順序で点滅します。詳細については、以下をお読みください。

説明 - 過熱は、高いリスニングレベルと低インピーダンスのスピーカーの組み合わせによって発生します。CAP4には、出力トランジスタによって発生する熱を常に監視する温度検出が含まれています。モニターされた温度が高いレベル（出力デバイスの限界内）に達すると、アンプは自動的に故障モードに切り替わります。ユニットは、適切に冷却するために、この状態で15分間放置するのが理想的です。ユニットが完全に冷却されていない場合、アンプの電源が投入された直後に温度が限界に達することがあります。ラウドスピーカーのインピーダンスが低い場合、アンプがより激しく稼動するため、アンプの温度上昇が速くなることがあります。アンプがキャビネットに取り付けられていたり、換気口が塞がれていたりすると、短時間の試聴で過温度検出が作動したり、解除されたりすることがあります。

処置 - 出力トランジスタの内部温度が過熱限界に達しています。ユニットを15分間放置して冷却してから、スタンバイボタンを押して通常の動作を再開します。

過電圧/過電流 (V/I) 検出

表示 - ユニットの動作中にオフになります。フロント・パネルのスピーカーA/Bの白色LEDが、赤色LEDと連動して以下の順序で点滅します。詳細については、以下をお読みください。

説明 - CAP4は、出力トランジスタを常に監視して安全動作領域(SOA)内で動作させ続けることによって、V/I(電圧/電流)保護を提供します。SOAは、信頼性を確保するために出力トランジスタの製造元によって与えられた一連の制限です。V/I保護はアンプ回路に組み込まれており、一時的な過負荷状態に迅速に反応します。V/I保護機能が作動すると、ユニットは動作を続けますが、出力トランジスタを保護するため、歪みが聞こえることがあります。

処置 - 音量を下げます。それでも歪みがある場合は、スピーカーの接続と定格を確認します。

インテリジェントクリッピング検出

表示 - 音量は自動的に減少します。

説明 - CAP4は、アンプが出力でクリップやオーバードライブを起こし始めると、ラウドスピーカーにダメージを与え、音を劣化させる可能性があるため、それを検知する機能を備えています。クリッピングの歪みは、出力信号がアンプが供給できる最大電圧の外に出ようとすると、大音量レベルで発生し、信号の上部が平坦化します。CAP4がクリッピングを検出すると、CAP4が歪みのない出力を検出するまで、音量は自動的に減少します。

注:クリッピング検出は、デフォルトでは無効になっています。クリッピング検出は、セットアップメニューで有効にできます(「セットアップメニュー」セクションを参照)。これはセットアップメニューで無効にできます。

CAP4が持続する場合は、スピーカーの仕様を確認して、EXA100と互換性があることを確認することもお勧めします。どちらのアンプも、インピーダンスが4-8Ωのスピーカーで使用できます。

接続されているスピーカーがこれらの仕様の範囲外にある場合は、CAP4保護が有効になっている理由にもなります。

トラブルシューティング

Last updated: October 2, 2024 02:30. Revision #14125

電源が入らない

- 電源コードが機器本体にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 電源プラグが壁のコンセントにしっかりと差し込まれており、電源スイッチが入っていることを確認してください。
- 電源プラグまたはアダプターのヒューズをチェックしてください。

音が出ない

- 機器がスタンバイモードになっていないことを確認してください。
- □ ソースのコンポーネントが正しく接続されているかを確認してください。
- スピーカーが正しく接続されていることを確認してください。
- ・ 選択したスピーカーのA/Bライトがラウドスピーカーが接続されているスピーカー端子に対応していることを確認してください。
- □ ユニットが消音モードになってないかを確認してください。
- □ フロントパネルで正しいアナログまたはデジタル入力ボタンが選択されていることを確認してください。詳細については、「フロントパネルの接続」セクションを参照してください。

片方のチャンネルから音が出ない

- スピーカーの接続を確認してください。
- 機器間の結線を確認してください。

低音が弱い、またはステレオイメージが拡散している

- スピーカーの極性が正しく接続されていることを確認してください。

スピーカーA/Bとミュートライトの点滅

- CAP4保護システムのセクションを参照してください。

リモコンが機能しない

- 電池が切れていないかを確認してください。
- リモートセンサーを塞いでいるものがないかを確認してください。

Mac/PCをUSBオーディオ入力に接続すると音声がかえらない

- □ マニュアルの「USBオーディオ接続」セクション内のすべての手順に従っていることを確認してください。
- □ フロントパネルのBluetooth/USBオーディオボタンを選択して、USBオーディオソースが選択されていることを確認してください。
- お使いの PC/Mac が USB A から B へのケーブルで USB オーディオ入力に接続されていることを確認してください。
- □ PC を接続し、USB オーディオクラス 2 で EXA を使用している場合は、正しい USB ドライバがダウンロードされていることを確認してください。ドライバは <https://www.cambridgeaudio.com/gbr/en/driver-updates> から入手できます。
- □ Cambridge Audio USB 2.0 ドライバをダウンロードした場合は、セットアップメニューで EXA が USB オーディオクラス 2 に設定されていることを確認してください。

テレビを EXA に接続すると音声がかえらない

- □ EXA がドルビーまたはサラウンド信号をデコードできないため、テレビのオーディオ設定が PCM またはステレオに設定されていることを確認してください。
- EXA 上で正しい入力を選択されていることを確認してください。
- EXA がテレビの設定上で外部スピーカーとして設定されていることを確認してください。
- テレビを EXA の eARC 入力に接続した場合、全ての関連の eARC/ARC 設定が TV 上で有効になっていることを確認してください。

Toslink でテレビに接続した場合、音声にドロップアウトが発生する

- マニュアルの「接続」>「テレビの接続」セクションを参照してください。

技術仕様

Last updated: September 27, 2024 03:50. Revision #14126

最大連続出力:

80W RMSから8Ω 120Wから4Ω

DAC

ES9018K2M

THD (unweighted)

<0.002% 1kHz、定格出力 (8Ω)

<0.02% 20Hz ~ 20kHz、定格出力 (8Ω)

周波数特性

<3Hz - >40kHz +/-1dB

S/N比 (1W、8Ω)

< -91 dB

S/N比 (フルパワー)

>105 dB

入力感度:

入力A1-A4(アンバランス)395mV RMS

入力インピーダンス

入力A1(バランス)100kΩ

入力A1-A4(アンバランス) 45kΩ

入力

バランス、アンバランス、同軸SPDIF、TOSLINK、Bluetooth、USBオーディオ、eARC

出力

スピーカー、ヘッドフォン、プリアンプ出力、サブ出力

パワーアンプの減衰率:

>160以上 (1kHz、8Ω)

USBオーディオ入力

USBオーディオクラス1またはUSBオーディオクラス2に準拠したUSBタイプB(ユーザーが選択可能)

互換性

USBオーディオクラス1:最大24ビット96kHz(非同期)

USBオーディオクラス2:最大24ビット384kHz(非同期)および最大DSD-256

Bluetooth

SBC、aptX、aptX HDコーデックをサポートする5.0 A2DP/AVRCP

TOSLINK

16/24ビット 32 ~ 96kHz

同軸SPDIF:

16/24ビット 32 ~ 192kHz

最大電力消費

1200W

スタンバイ時消費電力

<0.5W

寸法

83 x 430 x 340mm

重量

12.8kg

よくある質問

Last updated: October 2, 2024 02:34. Revision #14113

EXA上で、バランスまたはアンバランス入力を選択するにはどうしたらいいですか？

EXAでA1入力選択ボタンを押すと、バランスとアンバランスが切り替わります。バランスのとれた入力はA1がオレンジ色に点灯し、アンバランス入力がA1で青く点灯して表示されます。

EXAの接続方法に応じて、EXAで正しい入力を選択されていることを確認してください。間違った入力を選択されると、アンプから音が出なくなります。

外付けHDDをEXA100の「USBオーディオ入力」に接続できますか？

いいえ、「USBオーディオ」入力を使用して、USBドライブまたはHDDをEXA100に直接接続する方法はありません。EXA100の「USBオーディオ」入力は、PCまたはMacとの直接接続のみをサポートします。ただし、当社のネットワークプレーヤーの1つをEXA100と組み合わせて使用してこれを行うことができます。

EXA100をBluetooth経由で接続しているときにモバイルデバイスで音量を調整できないのはなぜですか？

EXA100でBluetoothを使用する場合、アンプのボリュームコントロールはモバイルデバイスのボリュームから引き継がれます。次に、モバイルデバイスは、固定レベルの音量のBluetoothストリームを生成し、アンプの端で調整されます。

Bluetoothで接続した場合、お使いの携帯端末ではEXA100のボリュームを操作できないことがありますが、これは正常な動作です。音量調整は、リモコンまたはフロントパネルのボリュームノブを使って、アンプ本体で行うことができます。

EXA100のクロスオーバー周波数はどのくらいですか？

EXA100では、サブ出力に2.3 kHzのローパスフィルタを適用しています。これは、サブ出力周波数において、EXAによる位相の付加を最小限にするためです。これにより、サブウーファー本体でクロスオーバー周波数を任意に設定することができます。

2組のスピーカーを接続した場合、EXAの電力出力はどうなりますか？

2組のスピーカーをアンプに接続すると、結合インピーダンスは半分になります。つまり、 8Ω （オーム）のスピーカーを2組接続すると、各スピーカーの個別インピーダンスは 8Ω のままでも、全体のインピーダンスは 4Ω になります。EXA100出力は 8Ω の100RMSで、 4Ω の155Wまで上昇します。

インピーダンスが半分になり、インピーダンスがそれぞれ2オームまたは3オームになることを意味するため、2組の4オームまたは6オームのスピーカーをEXA100に接続することは推奨されません。これにより、アンプの駆動が硬くなりすぎてCAP4保護がアクティブになったり、アンプやスピーカーに損傷を与えたりする可能性があります。

EXA100はUSDオーディオ入力を介して32bitファイルを再生しますか？

EXAのハードウェアUSBオーディオ入力を介して32ビットオーディオを処理することができますが、USBインターフェースはホストが24ビットしか処理できないことを報告しています。

USBをドライバーを使用して32ビットファイルを再生しようとすると、重要度の最も低い情報を取り除くことで、24ビットへと変換します。